

## レディーミクストコンクリート配合計画書

No. \_\_\_\_\_

2025年 4月 1日

有限会社宮森石油店 コンクリート工場  
東広島市豊栄町鍛冶屋464番地1  
TEL : (082) 432-2688  
FAX : (082) 432-2967

配合計画者名 市川 希

工 事 名 称													
所 在 地													
納 入 予 定 時 期													
本配合の適用期間		3月21日～6月30日・9月21日～11月30日 左記以外の期間は、備考欄に記述 (標準配合)											
コンクリートの打込み箇所													
配 合 の 設 計 条 件													
呼び方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スランプ <sup>°</sup> 又はスランプ フロー <sup>°</sup>		粗骨材の最大寸法			セメントの種類による記号			
	普通		27		cm 12		mm 20			BB			
指定事項 (必須)	セメントの種類		呼び方欄に記載		粗骨材の最大寸法			呼び方欄に記載					
	骨材の種類		使用材料欄に記載		アルカリシリカ反応抑制対策の方法			BB -					
指定事項 (任意)	骨材のアルカリ反応性による区分		使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量			- kg/m <sup>3</sup>					
	舗装コンクリートの強度試験方法		曲げ強度・圧縮強度		コンクリートの温度			- °C					
	水の種類		使用材料欄に記載		水セメント比及び/又は水結合材比の目標値の上限			55 %					
	混和材料の種類及び使用量		使用材料及び配合表欄に記載		単位水量の目標値の上限			- kg/m <sup>3</sup>					
	塩化物含有量		- kg/m <sup>3</sup> -		単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限			- kg/m <sup>3</sup>					
	呼び強度を保証する材齢		- 日		流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量			- cm					
空気量		- %											
使 用 材 料													
セメント	生産者名	麻生セメント株式会社			密度 g/cm <sup>3</sup>	3.04		Na <sub>2</sub> O eq %	-				
混和材①	製品名	-		種類	-		密度 g/cm <sup>3</sup>	-		Na <sub>2</sub> O eq %	-		
混和材②	製品名	-		種類	-		密度 g/cm <sup>3</sup>	-		Na <sub>2</sub> O eq %	-		
骨材	No.	種類	産地 又は 品名	7月1日以前に反応性による区分		粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm <sup>3</sup>		微粒分量の範囲%			
				区分	試験方法			絶 乾	表 乾				
細	①	砕砂	安芸高田市向原町坂産	A	化学法	0~5	2.70	-	2.67	3.0±2.0			
骨	②	砂	島根県仁多郡奥出雲町産	A	モルタルバー法	0~5	2.60	-	2.57	3.0以下			
材	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
粗	①	砕石	安芸高田市向原町産	A	化学法	5~20	6.66	-	2.74	0.5±0.5			
骨	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
骨	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
材	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
混和剤①	製品名	シーカボゾリス15S		AE減水剤(標準形I種)			Na <sub>2</sub> O eq %		0.7				
混和剤②	製品名	-		-			%		-				
混和剤③	製品名	-		-			%		-				
細骨材の塩化物量		-		%水の種類		地下水・回収水		目標スラッジ 固形分率		-			
回収骨材の使用量		細 骨 材		粗 骨 材		-		スラッジ 水の使用量		-			
配 合 表 kg/m <sup>3</sup>													
セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
322	-	-	174	430	429	-	951	-	-	-	2.51	-	-
水セメント比		54.0 %		水 結 合 材 比		-		細 骨 材 率		48.6 %			
備考				骨材の質量配合割合、混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合があります。				骨材混合比(質量混合)		細骨材①:② 50.0:50.0			
<p>修正標準配合として、以下に示す期間、混和剤量を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AE減水剤標準型は7月1日～9月20日(夏期)20%増、12月1日～3月20日(冬期)20%減</li> <li>高性能AE減水剤は7月1日～9月20日(夏期)15%増、12月1日～3月20日(冬期)15%減</li> </ul> <p>建築工事において、構造体強度補正値を以下に示す期間、S値を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>mSn=3N/mm<sup>2</sup>の適用期間 3月12日～7月14日、8月27日～11月9日</li> <li>mSn=6N/mm<sup>2</sup>の適用期間 7月15日～8月26日、11月10日～3月11日</li> </ul>													

配合計算書

配 合 の 設 計 条 件

呼び方	コンクリートの種類による記号 普通	呼び強度 27	スランブ 又はスランブ フロー cm 12	粗骨材の最大寸法 mm 20	セメントの種類による記号 BB
-----	----------------------	------------	-----------------------------	----------------------	--------------------

指定事項

(1) 変動係数(v)	当工場の実績により v = 10 %
(2) 配合強度(m)	$m_1 = \frac{1 \cdot S_L}{1 - \frac{2 \cdot V}{100}} = 33.8 \text{ N/mm}^2$ <p style="text-align: right;">よって m = 33.8 N/mm<sup>2</sup></p>
(3) 水セメント比(W/C)	$m = -12.06 + 24.86 \times C/W$ $W/C = 24.86 \div (33.8 + 12.06) \times 100 = 54.0 \%$ <p style="text-align: right;">W/C = 54.0 %</p>
(4) 単位水量(W)	当工場の実績により W = 174 kg/m <sup>3</sup>
(5) 単位セメント量(C)	$C = W \div (W/C) \times 100 = 174 \div 54.0 \times 100 = 322 \text{ kg/m}^3$ $C_v = C \div \text{密度} = 322 \div 3.04 = 106 \text{ } \ell/\text{m}^3$
(6) 空気量(A)	A = 4.5 % × 1000 = 45 ℓ/m <sup>3</sup>
(7) 細骨材率(s/a)	当工場の実績により s/a = 48.6 %
(8) 単位細骨材量(S)	$S_v = (1000 - (W + C_v + A)) \times s/a = 675 \times 48.6 \% = 328 \text{ } \ell/\text{m}^3$ $S = S_v \times \text{表乾密度} = 328 \times 2.62 = 859 \text{ kg/m}^3$ $S_1 = S \times 50.0 \% = 430 \text{ kg/m}^3$ $S_2 = S \times 50.0 \% = 429 \text{ kg/m}^3$
(9) 単位粗骨材量(G)	$G_v = 1000 - (W + C_v + S_v + A) = 1000 - 653 = 347 \text{ } \ell/\text{m}^3$ $G = G_v \times \text{表乾密度} = 347 \times 2.74 = 951 \text{ kg/m}^3$
(10) 単位混和剤量(Ad)	Ad = 2.51 kg/m <sup>3</sup>

配 合 表 kg/m<sup>3</sup>

セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
322	-	-	174	430	429	-	951	-	-	-	2.51	-	-
水セメント比	54.0 %		細 骨 材 率	48.6 %			骨材混合比 (質量混合)	細骨材①:②				50.0:50.0	

備考